
今後の近鉄グループのあるべき姿

□経営計画目標達成の見通し

2014年5月20日

近畿日本鉄道株式会社

□純粋持株会社制への移行



経営計画(2010~2014年度)目標達成の見通し

✓ 経営計画の重点施策

ーあべのハルカスプロジェクト

ーグループ事業の強化

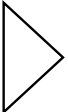
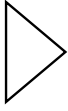
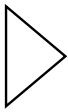
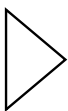
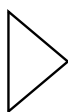
ー鉄道事業の強化

ー財務バランスの改善



経営計画(2010~2014年度)目標達成の見通し

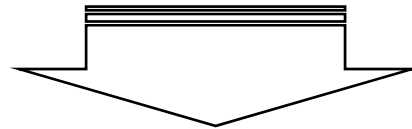
✓ 経営計画数値目標(2015/3期)

(連結)	経営計画目標値	前倒し達成年度	2015/3期見込み
営業収益	1兆1,000億円 	2014/3期 (1兆2,463億円)	1兆2,900億円
営業利益	600億円 		600億円
当期純利益	200億円 	2013/3期 (200億円)	230億円
有利子負債	1兆2,800億円 	2013/3期 (1兆2,767億円)	1兆1,700億円
EBITDA倍率	11.0倍 		10.3倍

純粹持株会社制検討の背景

2010年5月策定

「近鉄グループ経営計画(2010年度～2014年度)」



事業創造・構造改革の実施

- 「あべのハルカス」をはじめとする、ターミナル整備
- 鉄道事業構造改革による収益力強化
- 沿線のさらなる深耕や新規事業の創出

- グループ事業の強化
 - ✓近鉄百貨店の第三者割当増資実施
 - ✓近畿日本ツーリストとクラブツーリズムの統合
 - ✓地方百貨店の整理や運輸業における中間持株会社制導入

- 公募増資による財務基盤の一層の強化

純粋持株会社制の目指すもの

企業価値向上に向けたグループ体制

「経営」と「事業執行」を分離し、グループ全体の企業価値を高め、成長を加速させる

全体最適の視点でのグループ経営機能の強化

純粋持株会社

グループ経営
戦略の立案

経営資源配分
の意思決定

財務体質
強化

CRE戦略等
諸施策の
推進

経営人材の育成

事業間の連携促進・シナジーの強化

各事業会社の事業執行に関わる権限を強化

事業責任の明確化

鉄道
事業会社

不動産
事業会社

ホテル
事業会社

流通
事業会社

その他
近鉄グループ
各社

＝外部環境の変化に迅速に対応し、お客様ニーズを的確に捉えたサービスの提供＝

専門人材の育成

経営

経営目標
の提示

資源配分

事業
執行

グループ
貢献

成果の
創出

純粋持株会社 会社概要

○純粋持株会社の概要(2015年4月1日～)

社 名:近鉄グループホールディングス株式会社

(英文表記 Kintetsu Group Holdings Co.,Ltd.)

(2015年4月1日付で「近畿日本鉄道株式会社」から商号変更予定)

本社所在地:大阪府大阪市天王寺区上本町6-1-55

資 本 金: 126,476百万円

事 業 内 容: 純粋持株会社

純粹持株会社 新グループ体制

【現在】

近畿日本鉄道(株)
鉄道事業
生活関連事業

近鉄グループ各社

【純粹持株会社制移行後】

近鉄グループホールディングス
(純粹持株会社)

近畿日本鉄道
(鉄道)

不動産
事業会社
※近鉄不動産
に承継

ホテル
事業会社
※近鉄ホテルス
テムスに承継

流通
事業会社
※近鉄リテール
サービスに承継

その他近鉄グループ各社
近鉄百貨店 KNT-CTHD 他

純粹持株会社 移行スケジュール

◎2014年5月13日 分割契約書の取締役会決議
(近畿日本鉄道、承継会社)

分割契約締結

◎2014年6月20日 分割契約承認株主総会
(近畿日本鉄道)

◎2015年4月1日 分割効力発生